

事業所名

児童発達支援室きらら

支援プログラム

作成日

2025 年

4 月

1 日

法人（事業所）理念		・子どもの育ちを支え合うために、環境、年齢、心身の状況に配慮して支援をおこないます。 ・各専門分野との連携を深め、子どもの気持ちや一人一人の尊厳を大切にします。 ・創意工夫をした療育を提供し子どもが心身ともに健やかに育つように支援します。 ・連絡帳や保育中の写真でいろいろな情報を提供し、保護者と子育てを共有します。					
支援方針		・身の回りのことを中心に、朝の支度や排泄（トイレの使い方）、着脱、食事、手洗い等、生活の中にある様々な場面を利用して、自立に向かう支援をします。 ・支援者である保育士と一対一で丁寧に対応しながら信頼関係を結び、苦手な事も少しずつ取り組む姿勢を大切にします。 ・少しの距離から散歩を始め、自然の中で楽しみながら、体力をつけていきます。 ・苦手な食べ物も、楽しい雰囲気の中で少しずつ慣れていくように、お家の方と相談しながら進めます。（アレルギー食、離乳食、その他相談に応じます。）					
営業時間		9 時	0 分から	17 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	・生活リズムの安定をを目指します ・「何がどこにあるか」「どこで何をするか」など、わかりやすい環境の中で安心して過ごします ・基本的生活習慣確立と身辺自立を図ります					
	運動・感覚	・トランポリン、バランスボール、サーキット遊びや、階段の昇り降り、雑巾がけなど生活の中の活動を通して体を動かす経験をします ・自分からわかって動くことができるようにします					
	認知・行動	・毎日のカレンダーハシールを貼ることで、日付や天気の把握と確認による感覚・数の認知形成を促します ・実物やカードを見て、自分でわかって動くことが増えるようにします ・理解したことがつながり、応用がつくようにします					
	言語 コミュニケーション	・朝の会で名前呼びで返事をしたり、名前や年齢を伝える事を行い、言語表出、受容、意思伝達へとつながるようにします ・コミュニケーションの便利さと楽しさを知ることができるようにします ・その子にその子によるわかりやすいコミュニケーションの手段を見つけられるようにします					
	人間関係 社会性	・親子の愛着関係が深まるようにします ・保育者との信頼関係を深めるようにします ・友だちに関心を持ち、一緒に過ごしたり、遊んだりできるようにします ・遊びやお手伝いを通して子どもの自信や意欲を育てるようにします ・遊びを通してやり取りの仕方、順番、簡単なルールを学びます ・新しい場面へ適応する力・我慢する力を養います。					
家族支援		・親子療育では愛着関係を築くように一緒に活動し、保護者のかかわり方を具体的に助言や提案をします ・保護者の思いに寄り添いながら、子育てや発達などの相談にのります				移行支援	・就園や就学に向けて保育園や幼稚園、小学校などと連携を図ります ・保育所等に入園、完全移行できるように支援します
地域支援・地域連携		・地域の障害児通所事業所との連携・連絡会の実施、事業所会議への参加 ・担当保健師や関係医療機関との情報共有				職員の質の向上	・発達や障害などに関する外部研修の参加 ・職場内研修（虐待防止、こどもの人権、事故防止、感染症対策等） ・利用者アンケート、自己評価の実施 ・関係機関との合同研修
主な行事等		・入所式・水遊び・七夕会・親子あそび（年2回）・親子療育・クリスマス会・豆まき会・ひなまつり会・お別れ遠足・卒所式 ・避難訓練・引渡し訓練・保護者おしゃべり会					